

フィッシャー超小型膜厚計 デュアルスコープMPOR

デュアルスコープMPORは超小型膜厚計というだけでなく

- 2つのバックライト付き液晶ディスプレイ大きな全面のディスプレイと上面のディスプレイにより、どんな測定ポジションからでも膜厚を読み取ることが出来ます。
- ワイヤレスデータ送信機能
10mから20mはなれたコンピューターへ測定値を直接無線送信可能。

デュアルスコープMPORで測定できる皮膜

- 渦電流方式 (DIN EN ISO 2360)
アルミ、銅、真鍮、ステンレスなど非鉄金属上のペイント、ラッカー、化学合成物質、または、陽極酸化皮膜 (アルマイト) 等の絶縁皮膜。
- 電磁方式 (DIN EN ISO 2178)
鉄及び鋼上の亜鉛、クロム、銅、ペイント、ラッカー等の非磁性皮膜。

この測定器は下地の金属を自動確認し、適切な測定方法を選択します。



特徴

- ユーザー本位の片手操作で測定器を簡単に検体上に置き、測定値を読み取れます。
- どのような測定ポジションからでも測定値を読み取れるバックライト付きの2つのディスプレイを備えた人間工学的設計。
- 上/下限設定
- 本体と一体化された定圧式デュアルプローブにより、少ない接触力で一定した値が得られます。
- 自動オン・オフ機能
測定物が同じであれば校正しないでそのまま測定できます。
- ユーザー本位のメニューによりすばやく機能選択できます。
- 測定異常または、測定範囲を超えた場合可視、可聴信号が出ます。
- 測定値1,000件までのメモリーが、電源オフでも保持されます。
測定値を直接EXCELスプレッドシートに(オプションソフトウェアPC-DATEX)無線送信できます。
(オプションのRS232受信機が必要)
RS232ケーブルを使えば受信機をPCから離して最適な受信が可能です。
- 統計評価
- 一定の値を自動的に加減できるオフセット機能付き。
- 校正はファイルおよびベース補正で行います。
- 測定方法が電磁方式か、渦電流方式か自動選択されます。

適用分野

デュアルスコープMPORの代表的用途

- ペイントやラッカーの処理作業
- 電気メッキ工場
- 宇宙航空産業
- 製造部門のラボまたは現場
- 商品の最終受け入れ検査
- 試験期間またはコンサルタント
- 自動車産業

テクニカルデータ

- 測定範囲
電磁方式 : 0~2000 μm
渦電流方式 : 0~2000 μm
- 測定精度
0~50 μm : ±1 μm以内
50~1000 μm : ±2%以内
1000~2000 μm : ±3%以内
フィッシャー標準に基づく
- インターフェース
無線 868 MHz (EU)
915 MHz (US)
- 重さ
60 g (バッテリーを除く)
- 寸法
64 (幅) × 30 (奥) × 85 (高さ) mm
- 電源
単三アルカリ乾電池2本

注文番号

製品	オーダー番号
デュアルスコープMPOR (標準アクセサリを含む)	603-539
デュアルスコープMPOR-US (標準アクセサリを含む)	603-543
無線受信機 RS232 868 MHz	603-467
無線受信機 RS232 915 MHz	603-544
ソフトウェアPC-DATEX	602-465
ソフトウェアPC-DATACC	603-028



アルミ上のペイント、ラッカーまたは陽極酸化皮膜の膜厚測定



円筒部分の膜厚測定も可能



無線データ送信によりEXCELに送信できます。